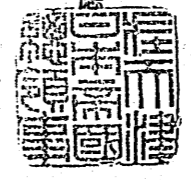


第一課長

機密第五六八號

昭和十四年四月十八日

在天津  
總領事 田代重德



外務大臣 有田 八郎 殿

天津市公署職員ノ英佛租界居住禁止方命令ノ件

本件ニ關シテハ不取敢電報濟ノ次第有之處訓令全文別紙ノ通り譯報ス

本信寫送付先 北京 上海

在天津日本總領事館

8 1.1.1.0 - 54 .314 275

天津特別市公署秘密訓令 建字第六號

查スルニ市政府所屬各機關職員ニシテ從來英佛租界ニ居住スルモノハ須ク一律ニ遷出スヘキ旨屢次命令濟ノ次第アリ然ルニ調査セル所ニ據レハ之等職員中ニハ命令ヲ遵守シ期日內ニ遷出セルモノ固ヨリ多數ヲ占メ居レルモ尙徘徊觀望陽ニ從ヒ暗ニ違反シ居ル者亦絶無ナリト言ヒ難シ仍テ重ネテ茲ニ命令ス即チ我カ市政府所屬公務人員ハ今後一切英佛租界內ニ居住スルコトヲ嚴禁ス從來右租界內ニ居住シ來タ遷出セサル者ハ本命令後三日以內ニ一律ニ遷出スヘク再ヒ遲延スルコトヲ許サス若シ故意ニ命ニ違フモノアラハ命令ヲ蔑視スルモノトシテ處分スヘシ各機關長官ハ親ラ模範ヲ示シ所屬ヲ督勵恪遵セシムヘシ今次誠誥ノ後再查ノ結果若シ命ニ從ハス又ハ詞ヲ設ケテ隱蔽スル如キコトアラハ該主管長官モ其ノ責ヲ問ハルヘキモノトス右命令スルニ付所屬ニ轉命遵行セシムヘシ

四月十四日

代理市長 溫世珍

在天津日本總領事館

8 1.1.1.0 - 54 315 276

JAPANESE CONSULATE GENERAL,  
TIENTSIN, CHINA.

18th April, 1939.

Dear Mr. Jamieson,

I am now informed by the Military  
Authorities that they will welcome the appoint-  
ment of Mr Nakagawa as adviser on Japanese  
affairs to the British Municipal Council.

Yours sincerely,

Sgd. S. Tashiro

E. G. Jamieson, Esquire,  
British Consul-General,  
TIENTSIN.

S 11,100-54 277 316

REEL No. A-0256

アジア歴史資料センター

東亞局

機密第 五六一五 號

第一課

昭和四年五月八日 接受

記帳簿

昭和十四年四月十八日

在天津

總領事 田代重徳



外務大臣 有田 八郎

殿

天津市長代理 溫世珍 暗殺陰謀犯人 檢舉ノ件  
本件ニ関シ 今般當館 警察署長ヨリ 別紙  
通報書有之タルヲ以テ 何等御参考迄 茲ニ送  
附ス

本信寫送件先

張家口、青島、濟南、南京、上海、漢口、太原

S 1.1.1.0 - 54

317 278

大警高秘合第一八八號

昭和十四年四月十二日

在大津總領事館

警察署長 田島周平

在北京大使館

警務部長 堀内干城 殿

在大津

總領事 田代重德 殿

大津市長代理 溫世珍 暗殺陰謀犯人檢挙ノ作

本籍 河北省霸縣城北建茶舖

現在所 大津 英租界 孟莊橋小河道

通稱 劉ニ下

韓 君 安

當二十九年

本籍 山東省禹城縣東鳳店

現在所 大津 日界 加茂街七號

學齡 文義ニ下

陳 子 明

當三十年

本籍 山東省曹州府善縣城南黃崗集

現在所 大津 日界 加茂街七號

陳子明内妻

陳 孫 氏

當三十六年

右者ハ當地英界ニ根據シ有スル第八路軍駐  
津辦事處除奸組責任者 朱玉田ノ指揮  
下ニ日界花園街所在大和ホテル投宿中ノ

S 1.1.1.0 - 54

319

S 1.1.1.0 - 54

318 279



天津市長代理溫世珍ヲ暗殺セント企劃セルモ、  
ナレ慶四月一日當署ニ於テ逮捕シ尚其他、  
係者ハ當署員ノ協力ノ下ニ支那側警察局ニ  
於テ逮捕セル慶其取調ノ結果判明セル狀況  
等左記ノ通り

左記

曩ニ日界中原公司並ニ公共バスノ爆破ヲ敢行  
セシメタル第八路軍除奸組責任者未玉田ハ  
從來ノ手段ヲ改メ親白華人暗殺ニ據リ皇軍  
ノ後方攪乱ニヨリ効果的ナラシメント其部  
下タル前記韓君安ヲシテ其對照人物並ニ工  
作員物色方ヲ命シタルカ韓ハ右指令ニ基  
キ先ス工員ヲ物色中本年二月中旬頃

英界孟莊大橋附近ニ於テ未玉田ヲ訪問、途上  
ニ居リタル豫テ向識ノ元匪賊前記陳子明ニ  
會ヒ同入カ求職中ナルヲ寄貨トシ之レヲ同  
志トシテ獲得シ他面天津市長代理溫世珍  
カ三月二十一日ヨリ日界花園街所在大和ホ  
テニ投宿中ナルヲ探知シ之レヲ目標ス可ク  
上級ニ報告決定セル上具體的実行手段ニ関  
韓君安陳子明、兩名ハ佛界公園其他ニ於  
テ數回ニ亘リ會合協議シ

天津市長カ大和ホテニヨリ自動車ニテ華  
街、市政存ニ出勤、途上ヲ同ホテル門前ニ  
擁シ拳銃ヲ以テ射殺ス  
大和ホテルニ溫市長、動靜偵察ハ韓君安ニテ

担任、上敢行ノ日時ヲ指令ス  
陳子明ハ之レカ実行責任者トナリ部下数名  
ヲ獲得実行ニ當ル

四実行ノ用ニ供ス可キ拳銃ハ韓ノ手ヨリ供給  
シ日界概入ハ陳ノ内妻担当ス

三成功、エハ韓ノ手ヲ経テ成功報酬トシテ陳  
子明ヘ二千元ヲ交付ス

右ヲ決定セルヲ以テ陳子明ハ部下獲得ニ奔  
走ノ結果沈某外一名ノ準人ヲ獲得シ着カ

其準備ヲ進メ四月一日陳ハ韓ト打合、上内  
妻ヲ佛界公園ニ派シ拳銃概入ヲ命シ

タリ  
右ニ對シ内妻陳孫氏ハ同日午後五時頃迄

公園ニ赴クヤ同所ニ待機中、韓居安ノ  
案内ニテ更ニ英界益莊大橋附近ノ家屋ニ

到リ何レモ彈丸充巔ノグローピング拳銃ニ  
挺六連発回転式拳銃一挺ヲ受領シ之レヲ

西脇腹及前腹部下ニ着下ニ隠匿シ午後  
六時頃日界旭街検問所ヲ通過シ何等不

審訊問ヲ受クル事ナク加茂街七號自  
宅内ニ概入準備完了スルニ及ヒ陳ハ韓居

安ヨリ四月二日朝過市長ノ出勤時ヲ擁シ決  
行ス可キ指令ニ接シタルヲ以テ同日午後七

時加茂街七號自宅ニ前記部下二名ヲ召  
集グローピング拳銃各一挺ヲ與ヘ集合所ニ

ル芙蓉街大津旅社前路上ニ先行セシメ陳自

S 1.1.1.0 - 54

323

S 1.1.1.0 - 54

322 281

身モ六連発回転式拳銃ヲ携帯居室ヲ出テ  
タルモ敢行後、嚴重ナル検査ヲ虞レ自ラ  
子ヲ下サス單ニ兩名ヲ指揮決行セシメ  
ントシ該拳銃ハ居室外階殺下ニ隠匿  
セルマ、集合所ニ到リタル際張込中ノ當  
署員ニ逮捕サレ續イテ共犯者陳子明ノ内  
妻陳孫氏モ其現住所ニ於テ検査シ共ニ當  
署ニ收容セシカ吏ニ之レカ供述ニ基キ華街  
南海四合里十二號ニ潜伏中、本件指揮者  
ヲ七當署員援助ノ下ニ支那側警察局長  
之レヲ逮捕セリ  
然シテ當署ニ收容セル陳子明並ニ陳孫氏ハ何レ  
モ其犯罪事實ヲ別紙聽取書、通リ自白セ

ルヲ以テ支那側ニ拘禁中、前記指揮者韓  
若安取調ノ必要上本月三日夕刻身柄ヲ支那  
側ニ送致セリ

本件捜査ノ端緒トナリタルモ、ハ実行責任者  
陳子明カ其配下ノ物色ヲ誤リ豫テ警察局長  
特高科ニ連絡アル沈某外一名ヲ之レニ當テタ  
ル為メ警察局長側ヨリ其計畫画ノ一部ヲ當署  
ニ連絡アリ當署ニ於テハ四月一日夜ヨリ一切ノ手  
筈ヲ調ヘ芙蓉街花園街ヲ中心トシ警察  
官ヲ変装配置ノ結果一味全員ヲ逮捕シ得  
タルモノナリ

右報告申進ス  
本信官送付先 北京五、印坊、滄州、海軍、唐山、塘沽

聽取書

本籍山東省高城縣朱鳳店  
現住所單街南開太平里五號  
住所日界加茂街七號

無職 學冷文義事 陳子明

當三十年

326 283

右者昭和十四年四月二日當署ニ於テ本職ニ對シ任意左ノ陳述ヲ為シタリ

一 本籍居住所職業氏名年齢等前記ノ通り相違アリマセン

一 私ハ曾テ官公署ニ勤メタコトアリマセン

一 私ハ昨年九月二十一日匪賊嫌疑テ支那側警察署ニ引致サレマシタカ本年一月初旬頃

無罪放免サレタ外前科ハアリマセン

一 私ハ財産ハアリマセン

一 私ノ家族ハ父母、妻長男二男弟、弟ノ妻、七名  
テ現住所ニハ私ト妻ニ居住シ外ハ皆本籍地ニ居リマス

父ハ本籍地ニ於テ弟ト共ニ油坊(油商)ヲ經營シテ居リマス

一 私ハ本籍地ニ於テ出生シ幼兒カラ父經營ノ油坊ヲ手傳ツテ居リマシタカ二十四才ノ春頃濟南ニ赴キ私、義弟李學德ト共同テ濟南市ニ大馬路緯十一路西市場南門三十四號ニ於テ印刷業ヲ經營シマシタカ商賣カ意ノ如クナラヌノテ民國二十五年

S 1.1.1.0 - 54

327

S 1.1.1.0 - 54

十一月中旬頃該業ヲ率シ北京清華大學  
校通學中ノ私ノ友達ヲ子言ヲ訪ネテ北  
京ニ行キマシタ處ヨ子言ハ既ニ學校ヲ卒  
業シ日本ニ留學シタ后ナノテ私ハ天津ニ  
来マシタ天津ニハ私ノ同郷人袁東奎カ  
河北五馬路大新里三十四號ニ於テ袁家車  
廠(入カ車商)ヲ經營シテ居リマシタノテ袁  
ノ宅ナ約三ヶ月帯在シテ居リマシタカ  
適當ナ就職口カカツタ為メ民國二十六年  
三月頃霸縣台頭鎮ニ行ツテ煙草小賣商  
ナシテ見マシタカ事変后商賣ニ面白ク  
ナイ為メ更ニ天津ニ戻リ前記袁ノ宅  
テ世話ニナツテ居リマシタ

328 284

S 1.1.1.0 - 54

一 一  
私カ昨年四月頃来津シテ向ヒナク現  
在ノ妻ト内縁關係ヲ結ビ前住所テ  
暮シテ居リマシタ  
一 一  
昨年九月二十六日私カ匪賊嫌疑テ支那  
側警察署ニ引致サレ本年二月中旬  
旬頃無罪放免サレマシタカ當時妻ハ現  
住所ニ引越シテ居リマシタノテ私モ其  
處ニ同居シマシタ  
一 一  
ソレテ私ハ無一文トナリ生若ニ困ツテ  
居リマシタノテ本年二月中旬頃英界  
孟莊大橋(以下不詳)ニ居ル私ノ義兄朱  
孟田ヲ訪ネテ行ク途中英界孟莊大  
橋附近ニ於テ偶然朱ノ友建劉某ニ會ヒ

329

S 1.1.1.0 - 54

一  
朱ノコトヲ聞キマスト来田ハ日本人ハ  
日向ト共ニ北京ニ行ツタト云フノテ私ハ  
劉ニ私ノ住所ヲ知ラセテ宅へ飯リマシ  
タ  
其ノ後五日位シテ劉カ私ノ家迄テ来マ  
シタカ私カ留守タツタノテ會ヒマセ  
シテシタ  
其ノ翌日午后六時頃劉カ又私ノ家ニ  
来マシタノテ私ハ劉ニ對シ生活ニ困ツ  
テ居ルコトヲ話シマスオト劉カ云フ  
ニハ其ノ内ニ職ヲ見付ケテヤルカ  
待ツテ居レト云ツテ歸リマシタ  
其後二日位シテ劉カ又来マシタ此ノ時

330 285

S 1.1.1.0 - 54

一  
オカ云フニハ仕事ハアナルカ若ハ何テモ  
ヤルカト云フノテ私ハ目下困ツテ牛  
マスカウ何テモヤリマスト云フト明  
日午後二時頃佛界國民飯店前公園ナ  
會フ約束ヲシ歸リマシタ翌日午後  
二時頃私カ前記場所ニ行ツテ劉ニ會  
ヒマシタ此ノ時刻ハ私ニ對シ近イ内ニ君  
カ知ツテ牛ル友達ヲ紹介シテ呉レ  
ト云フノテ私ハ之レヲ承諾シテ分レマ  
シタ  
其後私ハ友達ヲ探シテ居ル内知人王福  
田(住所南浦四和里二十二號)ニ會ヒ若ノ事ヲ  
話シマシタ處王ハ其ノ翌日沈ト云フ人ヲ紹

S 1.1.1.0 - 54 331

介シテ吳レマシタツレテ私ハ沈ヲ連レ  
 ナ佛界国民飯店ニ行ツテ劉ニ會ヒ沈  
 ヲ紹介シマシタ。ソコテ私共三人ハ佛  
 界蓬萊春飯莊ニ行ツテ會食シテ  
 天津市長溫世珍暗殺ニ関シ相談シマ  
 シタ結果拳銃ハ劉カ出スコトニナリ  
 マシタ此ノ時刻カ之ヲニハ溫市長ハ現  
 在日本租界大和旅館ニ止宿シテ若  
 ルトノ事ヲ具体的計劃ハ更ニ劉カ加  
 納街ノ私ノ家ニ來テ相談スルコトニ約  
 束ノ上此ノ日ハ分レマシタ  
 一 其ノ翌日午後三時頃劉ハ私ノ家ニ來マ  
 シタノテ私ハ劉ト共ニ南甯四和里門

S 1.1.1.0 - 54 286 332

牌不詳ニ沈ノ家ニ行ツテ三人テ相談シ  
 タ結果私ノ妻カ佛界ニ行ツテ劉ト  
 リ拳銃ヲ引受ケ私ノ家迄ヲ運フ  
 コトニナリマシタソレテ私ハ家ヘ  
 飯ツテ來テ妻ニ大体ノ旨ヲ語シテ  
 今日午後五時頃佛界国民飯店前公  
 園ニ行ツテ劉ト共ニ拳銃ヲ貰ツテ來  
 ル梯ニ命シマシタ  
 一 私ハ他ニ用事カアリマシテ一寸外出  
 シテ全七時半頃飯リマスト妻ハ既  
 ニ飯ツテ存リマシタ沈七時來テ牛マ  
 シタ私ハ妻ニトウナツタカト聞キ  
 マスト妻ハ拳銃ニ提テ持ツテ來テ箱

S 1.1.1.0 - 54 333



ノ内ニ入レテアルト云ヒマシタ沈モ此ノ  
拳銃ヲ見タト云ツテ居リマシタソコ  
テ私ハ沈トニ入テ翌日行動ヲ開始ス  
ルコトニ約束シケ沈ハ飯リマシタ之レ  
カ即チ四月一日ナアリマス

一 四月二日午前八時頃沈カ自分ノ使用入  
ト云フ一支入ト共ニ自動車ヲ乗シマ  
シタ私ハ早一速箱ヲ開ケテ拳銃三挺ヲ  
持出シテ内ニ挺(ブローニング)拳銃彈丸  
數不詳)ヲ沈ニ渡シテ天津飯店ノ前ニ  
テ會フ約束ヲシ沈ハ先キニ行キマシ  
タ私ハ持ツテ居タ拳銃(六連発拳銃)  
挺彈丸六發)ヲ階級ノ下ニカクシテ

334 287

S 1.1.1.0 - 54

置イテ徒歩ヲ約束場所タル天津飯  
店ノ前ニ行キマシタ處此處ヲ貴署ノ署  
員ニ逮捕サレマシタ

茲ニ於テ事件ヲ明瞭ナラシメモ為メ任  
意左ノ回答ヲ為ス

問 其方ヲ指揮シテキタ劉某ハ誰ノ指  
揮下ニアリヤ

答 ソレハ全ク判リマセンテシタカ溫市長  
ニ親シタウ其ノ報酬トシテ私共三人ニ  
ニ千円ヲ呉レルト云フノテ今度ノ事  
件ニ参加シタ丈テ外ハコトハ全ク分リ  
マセン

問 溫市長暗殺ノ具的的計劃ヲ述ヘヨ

S 1.1.1.0 - 54

335



答 當日午前八時私ト沈トハ私ノ家カウ出テ  
天津飯店ノ前テ集合シ浪速街ヲ暫行  
シ大和ホテルノ前ニ出テ溫市長カ自動  
車ヲ出勤スル處ヲ射殺スル考ヘテシ

問 汝ノ義兄朱玉田ノコトニ付テテ詳細

答 民國二十一年三月頃私カ霸縣蓋頭鎮  
ニ於テ煙草小賣商ヲ經營シテキル  
際ニ朱玉田カ日本入小村ト共ニ蓋頭  
鎮ニ於テ自治聯軍ノ兵隊募集ヲ  
シテキマシタ此ノ時私カ朱玉田ノ手  
傳ヒマシタコトカアリマス此ノ關係テ

336 288

S 1.1.1.0 - 54

義兄弟トナリマシタ其後朱カ何テ  
シテキマシタカハ全ク分リマセン  
問 其方カ溫市長ヲ暗殺スル目的ニテ大  
津飯店ノ前迄テ来タノニ拳銃ヲ持  
ツテ来タカツタノハ何故カ

答 私カ拳銃ヲ持ツテ行カナカッタ原因ハ  
溫市長ノ止宿スル湯新カ日本租界  
ノ中心地テシカモ日本警察署カウ餘  
リ遠クナイ許テテ非常ニ危険カ伴ヒ  
マスカウ持ツテ行キマセンテタカ今  
日、溫市長ヲ殺ス為メノ行動ニ付テ  
テハ總ヘテ私カ指揮スルコトニナツテ  
若リマシタ故ニ當時私ハ拳銃ハ持ツ

337

S 1.1.1.0 - 54

行カナカツタデスケレトモ沈外一名  
 ナシテ過市長ヲ殺害セシメタル後其ノ  
 状況ヲ疑滞ナク劉ニ報告スル積リテ  
 シタ  
 汝ハ此ノ外ニ日支人要人ノ殺害又ハ殺  
 害スヘク計劃メ立テタルコトアリヤ  
 答 全クアリマセン  
 問 以上ニ述ヘタルコトハ皆事實カ  
 答 皆事實ナス  
 問 他ニ申述ヘタルキコトナキヤ  
 答 別ニアリマセン  
 右錄取シ讀用ケタル處相違ナキ旨申立署  
 名 梅印シタリ

338 289

S 1,1,1,0 - 54

陳述者 陳子明(梅) 林人無筆ス

昭和十四年四月二日

於天津日本總領事館警察署  
 司法警察官 警部代理  
 外務省 巡查 尹基煥(印)

S 1,1,1,0 - 54 339

領置書  
 過市長暗殺被疑事件ニ付差出入ノ承諾ヲ得  
 テ左ノ物件ヲ領置ス  
 昭和十四年四月二日  
 於在天津日本總領事館警察署  
 司法警察官警部代理  
 外務省 巡查 朴永九 (印)

被疑者  
 所有者住所氏名  
 備考

番號種目	員數	差入氏名	所有者住所氏名	備考
廻轉式六連發拳銃	一	天津日本租界加茂街七號	同上	
		陳子明		

廻轉式六連發拳銃	天津日本租界加茂街七號	同上	
	陳子明		

S 1.1.1.0 - 54 341

S 1.1.1.0 - 54 340 290

REEL No. A-0256

聽取書

本籍 山東省曹州府善縣城南黃崗集  
住所 天津市日本租界加茂街七號

陳子明、内妻

陳孫氏

當三十六年

291

右者昭和十四年四月二日當署ニ於テ本職ニ  
對シ左ノ通陳述ヲ為シタリ  
一 私ノ本籍係ル姓名年令ハ今申述ヘ  
夕通り相違アリマセタ  
一 私ハ二十一歳ノ年ニ同郷人張文成ト結  
婚シテ約十年前ニ天津ニ移住シ勞  
働ニ從事シテ居リマシタ  
一 今カラ六年前亭主張文成ハ公稼ノ為

S 1.1.1.0 - 54

342

メ大連方面へ行ツテ以來今日迄消息  
不明テスカ聞クトコロニ依ルト大連ニ  
死シタラシイノケス  
一 亭主張カ行方不明ニテツテカラハ生活  
ノ為メ私娼ヲシテ居リマシタ  
一 私ハ昨年陰曆十一月現在所ニ移住シ  
私娼ヲ續ケテ居リマシタ  
一 私カ陳子明ト陳學禮ト知合ヒニテツタ  
ノハ本年旧一月七日テスカ當時知合ヒノ  
楊某ノ紹介テ陳ト同棲スルコトニナリ  
マシタ  
一 私ハ陳ト正式結婚ヲシタノケハナク只一  
時的同棲ニ過キマセタ

S 1.1.1.0 - 54

343

一 陳ハ私ト同棲以來毎日常生活費トシテ僅  
 カ四五十錢位宛シカ呉レマセヌテシタ  
 一 先月ノ二十七日頃ト思ヒマスカ午後五  
 時頃陳カ友人トシテ洋服ヲ着テ支  
 那人一入ヲ連レテ来タコトカアリマスカ  
 其ノ人ノ姓名ハ聞イテ居リマセンノテ  
 覺ユテ居リマセタ當時私ハ御茶ヲ御  
 客様ニ出シテ隣リノ家主ノ家ニ遊ヒニ  
 行キマシタカ暫クシテ二人ハ外ヘ出テ  
 行クノヲ見マシタ  
 一 昨一日午後五時頃私等夫婦ハ夕食ヲ  
 齊マシテ居タラ前夜ノ洋服ヲ着テ  
 青年カヤツテ来タノテ奇屋ニ案内

S 1.1.1.0 - 54 344

292

シマシタ處陳トニ入テ何カ暫ク話シ合  
 ツテ居リマシタカ御客カ飯ツタ後  
 陳カ私ニ曰ク「御前ハ今カウ入力車ニ  
 乗ツテ佛蘭西公園ニ行ツテ先ノ御  
 客カウ渡サレシ品物ヲ持ツテ来イト  
 云ハレマシタノヲ私ハ主人ノ命ニ依リ直  
 ニ入力車ニ乗ツテ佛蘭西公園ニ行キ  
 マシタラ洋服ヲ着テ御客カ私ヲ待ツテ  
 居マシタノテ其處カウ其ノ人ノ案内テ  
 又入力車ニ乗ツテ英租界橋ヲ渡ツタ  
 處テスカ(地名番地ハ知リマセヌ)大キナ建  
 物ノ構内ニ入りマシタ如右側ハ入口カ  
 入りマスト其奇屋ニハ支那服ヲ着テ

S 1.1.1.0 - 54 345

二十七八歳位ノ青年カ居リマシタカ其  
 ノ青年トハ何モ語ラズ洋服ヲ着タ  
 青年カ私ニ拳銃ニ疑ヲ渡シテ呉レ  
 ラシヨ御宅迄テ持ツテ行クトニ三十  
 円上ケマスカラ是非持ツテ行ツテ御主  
 人ニ渡シテ下サネト言ハレマシタ  
 私ハソレヲ受取ツテ両脇腹部ノ方ヘ三挺  
 共ニ匿シ持ツテ其ノ家ヲ出様トスル時  
 洋服ヲ着タ青年カラ車ヲ賃トシテ  
 壹円礼壹枚ヲ貰ヒ其家ノ門前テ人カ  
 車ニ乗ツテ旭街經由家ニ飯リマシタカ主  
 人ハ留守テ時ハ午後六時過キテアリ  
 マシタ

S 1.1.1.0 - 54 346 293

問 汝ノ拳銃ヲ貰ツタ家ハ洋服ヲ着タ青  
 年ノ家ヲアツタカ  
 答 私カ見タ處テハ大キナ宿屋ノ様ナシタ  
 問 部屋ノ設備ハ何ウテアツタカ  
 答 部屋ニハ家財道具ハナク寢臺カ一ツテ  
 一ブルカ一個ニ椅子カニ三脚アリマシタ  
 問 其家カ宿屋トシタウボイカ居タ答  
 タカ如何  
 答 ホイシイ者ハ見受テマセテシタ  
 問 拳銃ヲ取リニ行クトキハ何ノ道ヲ通  
 ツタカ  
 答 芙蓉街檢問所ヲ經由シテ行キマシタ  
 問 故リハ何故旭街經由テ来タカ

S 1.1.1.0 - 54 347

答 芙蓉街ハ午後六時ニナルト門カ閉ル

問 ヲテ旭街ヲ經由シテ来マシタ

答 洋服ヲ着タ青羊カ私ノ後ヲ従イテ

問 来タ様テシタ

答 ソレハ如何ニシテ分ツタカ

問 私カ家ニ帰リツクト前述ノ青羊モ同

答 モナク家ニ来タノテ分リマシタ

問 其ノ青羊カ汝ノ家ニツイテ来タ時ハ

答 何カ云ハナカツタカ

問 汝ハ其ノ拳銃ヲ持ツテ来テ何ウシタカ

答 主カ居ナカツタノテ何モ云ハスニ直ク飯

問 汝ハ其ノ拳銃ヲ持ツテ来テ何ウシタカ

答 箱ニ直シテ置キマシタ

問 汝ノ主人ハ何時頃帰宅セリヤ

答 午後八時過キニ帰ツテ来タノテ私ハ

問 拳銃ヲ持ツテ来テ直シテ置イタ事

答 ナ申シマスト主人ハ該皮張りノ箱ヲ用

問 テテ檢ヘテ見ル様テシタ

答 其ノ拳銃ハ何ソノ為メニ持ツテ来タカ

問 存知セシヤ

答 私ハ全ク存シマセヌ

問 拳銃ヲ持ツテ来ル時旭街ノ檢問所テ

答 身体検査ヲ受ケサレヤ

問 何モナク無検査テ通りマシタ

S 1.1.1.0 - 54

349

S 1.1.1.0 - 54

348

294

問 汝ハ該青羊カウ拳銃ヲ渡サレル時日本  
粗界ニ持ツテ行ク事ニ就イテハ恐シ  
クナカッタカ

答 最近各検問所ニテ身体検査ハシナイ  
様テシタカウ何モ不安ヲ感シマセヌテ

問 其後如何シタカ  
答 今朝九時頃ト思ヒマスカ私カ末々寝テ

居ル處ハ誰カ来テ陳ト何カ話シテ君  
ル様ニシタカ暫クシテ皆出テ行ク様  
テシタノ私カ起キテ着テ檢ヘマシ  
タカ拳銃ハ一挺モ有リマセヌシタ  
今朝汝ノ家ニ来タ人ハ誰テアツタカ

答 顔ヲ見ナイカウハツキリハ知リマセヌ  
カ聲ヲ聞クト四五日前カウ私ノ家ニ

問 汝ハ今朝陳カラ何モ話サ聞イタ事  
ナキヤ

答 何モ聞イテ居リマセヌ  
問 今朝陳ハ何處ヘ行クト称シテ出掛ケ

答 何モ話サスニ出テ行キマシタ  
問 御前ハ何時頃逮捕サレタカ

答 主人カ出掛テナ一時間位シテ逮捕サレ  
マシタ  
問 汝ト同行サレタ女ハ汝ト如何ナル関係ノ

350 295

S 1.1.1.0 - 54

351

S 1.1.1.0 - 54

REEL No. A-0256



者ナリヤ

答 別ニ關係ハアリマセヌ隣リニ住シテ居

ル人ナ私カ逮捕サレテ時丁度私ノ處ヘ

来テ居リマシタノテ同行サレタ人ナス

問 汝ハ該青年カウ拳銃ヲ受テ取ル時

實包ハ檢ヘナカツタカ

答 荷モ檢ヘスニ其盜持ツテ来マシタ

問 汝カ持ツテ来タ拳銃ハ斯ニチモノナ

アツタカ

答 茲ニ於テ證第一號ノ拳銃ヲ示ス

答 三挺ノ中ノ一挺ニハ間違ヒアリマセヌカ也

ノニ挺ハ色カ黒クテ握リ予カ太イモノナ

シタ

S 1.1.1.0 - 54

352 296

問 洋服ヲ着タ該青年カラ拳銃運ビ料

トシテ前述ノ金額ヲ貰ヒタレヤ

答 先ニ申シマシタ通り車賃壹円以上ニハ

何モ貰ツテ居リマセヌ

問 其他申立テ事ナキヤ

答 何モアリマセヌ

右録取シ讀用ケタル處間違ナキ旨申立

署名梅印シタリ本名無筆ニ付代署

陳述者 陳孫氏(梅)

昭和十四年四月二日

於在天津日本總領事館警察署

司法警察官警部代理

外務省巡查 朴永九(印)

S 1.1.1.0 - 54

353

天津英租界

東亞局

第一課

機密第五八九號

昭和十四年四月二十日

別紙添附

昭和十四年五月八日 接受

Handwritten mark

14.5

在天津  
總領事 田代重



外務大臣 有田八郎 殿

英租界工部局顧問招聘ニ關スル件

本件ニ關シ幾ニ電報ヲ以テ報告ノ次第有之處本件往復文書御參考迄  
茲ニ送附ス御査閱相成度

本信寫送付先 北京 上海

在天津日本總領事館

354 297

S 1.1.1.0 - 54

REEL No. A-0256

秘

電信寫

昭和14 一二一三九 暗 天津 四月廿一日前發 亞  
本省 廿一日後着

有田外務大臣 用代 領事

第二五〇號

十七日山口街白河渡船場附近ニ於テ容疑華人五名ヲ搜得ヘ該重取調  
ヘタル

第八路軍系余占淋カ等謀長馮子洲ヲシテ其租界某所ニ密接シメ  
タル同軍駐津辦事處ノ指揮ノ下ニ天津地方擄奪ノ目的ヲ以テ組織セ  
ル便衣隊ノ隊長、副官、及員及朱占淋等時派聯絡員ナルコト判明セ  
ルニ依リ之カ供進ニ基キ其ノ隊員或ハ小銃七、實包四五七、手銃一  
一、實包三九七其ノ他ヲ天津 カンサイカ ニ於テ押收シ十八日天津憲

兵隊ヘ送致セリ本細公信  
北京、上海、漢口ヘ電達セリ

天津英領事館

S 1.1.1.0 - 54 355

S 1.1.1.0 - 54 355 298

東亞局

機密第六四〇號

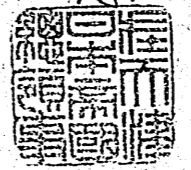
第一課

天津英租界

昭和十四年五月廿二日

在天津

總領事 田代重徳



外務大臣有田八郎 殿

英佛租界内於之密判中、抗日文件、近況ニ関スル件  
本件ニ関シ當館警察署長ヨリ別紙ノ通り報告有之タ  
ル付何等御参考迄茲ニ報告申進ス  
本信寫送付先

北京、張家口、濟南、青島

8 1,1,1.0 - 54

357 299

天啓高秘第三九號

昭和十四年四月二十八日

在天津總領事館

警察署長 田島周平

在北京大使館

警察部長 堀内下城 殿

在天津

總領事 田代重德 殿

英佛租界内ニ於テ密判中ノ抗日文件ノ近況ニ関スル件

英佛租界内ニ於テ從來ヨリ密判中ノ抗日文件ニ関シテハ  
屢次報告置處ナルカ最近尙租界當局ニ對スル我方ノ強

硬ナル抗日分子取締要求ニ對シ兩租界當局共取締ヲ  
嚴ニセルヤノ傾向アリ特ニ英租界内ニ於ケル我方立會  
搜查ヲ實施セル結果尙月感シ抗日機關紙等モ漸  
次停刊或ハ禁刊セラレタレモ、如ク其數類ニ減シシ  
三月中當署ニ於テ入手セシモノ僅カニ七記ノ通りナル状  
態ニアリ

九記

一國民黨機關紙「北方」

一、三月二日發行第八九期合刊

一、三月九日發行第十期

備考 本刊ハ民國三十七年十二月二十九日創刊英租界

内ニ於テ馮三健ニ據リ發行セラレツ、アル四六  
倍版活版印刷ニシテ一週一回發行予定モノ

S. 1.1.1.0 - 54

359

S. 1.1.1.0 - 54

358 300



一民族解放先鋒隊天津地方隊部機關紙「津沽」

- イ三月一日発行創刊號 (三月十四日ヲ以テ原稿添付報告済)
- ロ三月四日発行第二號
- ハ三月十日発行第四號
- ニ三月十五日発行第五號
- ホ三月十八日発行第六號
- ヘ三月二十二日発行第七號
- ト三月二十五日発行第八號
- ク三月二十九日発行第九號

備考民國二十八年二月一日創刊英租界内ニ於テ舉行セシ  
レツ、ソレ四六倍版騰寫刑リ三日刊ノ予定、モノナ

右何等御参考道ニ津沽創刊號ヲ除キ原物警務部長

ノニニ添付ニ茲ニ報告ス

S 1.1.1.0 - 54 361

S 1.1.1.0 - 54 - 360 301







**抗日分子の温床**  
**天津租界痛撃**  
**軍當局強硬決意聲明**

【天津特電六日】 天津租界内抗日分子の温床となり、軍當局は強硬決意を表明し、痛撃を加へる。抗日分子は租界内を拠点として、各種の暴行を繰り返してゐる。軍當局はこれに黙つてゐることは出来ず、強硬な手段を講ずる必要を感じた。抗日分子は租界内を拠点として、各種の暴行を繰り返してゐる。軍當局はこれに黙つてゐることは出来ず、強硬な手段を講ずる必要を感じた。抗日分子は租界内を拠点として、各種の暴行を繰り返してゐる。軍當局はこれに黙つてゐることは出来ず、強硬な手段を講ずる必要を感じた。

S. 1.1.1.0 - 64 364 304

天津英租界

天津英租界

拜啓陳者客月二十日附外務大臣宛貴翰ヲ以テ過般天津ニ於テ發生ノ抗日暗殺事件ニ關スル四月十一日附「ノース、チャイナ、デイリー、ニュース」記事寫御送付相成受領致候  
 右御通報ニ對シ表謝旁此段四答得貴意候 敬具

昭和十四年五月九日

外務次官 澤田 廉三

在本邦  
 英國大使  
 「ゼライト、オノラブル、サー、ロバート、グレイギー」閣下

S. 1.1.1.0 - 64 365 305

東亞局

機密第五三五號（北大管三機密第一〇一號）

昭和十四年五月十一日

在中華民國（北京）

大使館參事官 堀内 干



昭和十四年五月廿參日接受  
別紙添付

天津英租界

外務大臣 有田 八郎 殿

天津英工部局警務處長李漢元辭職

ニ關スル件

本件ニ關シ新民會ヨリ入手セル情報別紙ノ通りナル處右事實ナリ  
トセハ英國側ノ對日態度、天津市党部ノ對策及抗日工作ニ及ホス  
影響等相當注意ヲ要スヘキモノト思料サル、ニ付何等御參考迄申  
進ス

北京日本大使館警務部

8 1,1,1,0 - 54 366 306

本信寫送付先 天津 上海

北京日本大使館警務部

8 1,1,1,0 - 54 367 307

REEL No. A-0256

寫

新監情第一八三號

中華民國廿八年四月二十八日

新民會中央監察部

天津英工部局前警務處長李漢元ニ關スル件

天津英工部局關係ヨリノ情報ニ依レハ該工部局警務處長李漢元ハ英國側ノ勢力ト職權ヲ利用シ英租界内ヲ本據トスル党府各機關及各種抗日分子等ヲ庇護援助シ居リシカ最近党府、天津市党部ノ外國工作ヲ委セラレ、中日當局ヘノ反抗益々露骨ト成リ居ル狀態ナリ此ノ如キ不穩事實ヲ發見セル英大使館副領事ハ局内安全ヲ謀ル爲ト、且李ノ危險工作ニ端ヲ發シ將來英日間ニ國際的憂事ノ惹起ヲ慮リ之ヲ未然ニ防止スル意味ニテ去ル二十日極秘裡ニ彼ヲ辭職セ

北京日本大使館警務部

8 1.1.1.0 - 54

368 308

シメタリ

然ルニ同局内ニ比較的勢力ヲ有スル華人ノ一部ハ英領事館各方面ニ手ヲ廻シ李ノ留任方ヲ謀リ居ルモ未タ何等ノ反應ナキ模様ナリ尙党府、天津市党部常務委員胡文生ハ戰區党府委員會及第一戰區辦事處並ニ各抗日機關ノ連名ニテ在重慶英大使カ―氏ニ宛李ノ留任方ヲ歎願ス可ク、四月二十三日午後八時党府外交部宛發電シタリ、此ノ結果ニ關シテハ引續偵察中ナリ

以上

北京日本大使館警務部

8 1.1.1.0 - 54

369 309



大臣内表  
資料  
原典 治外  
ニ至リ

極秘

○天津英佛租界問題

(昭一四、五、二五)

天津ニ於キマシテハ英佛兩租界ヲ竊カニ根據トスル抗日分子ノ活動ヲ阻止スル爲、客年末以來我軍側ニ於キマシテ兩租界ニ出入スル支那人ニ對シ嚴重ナル檢問ヲ實施致シマシタ。此ノ措置ハ英佛兩國側ニ對シ、或ハ日本側カ租界包圍ノ政策ニ乘出シタノテハナイカトノ懸念ヲ與ヘタ如クデゴザイマシタ。其ノ後本年二月ニ至リ檢問ノ剛度ハ激發ヲ見ルニ至リマシタカ、英佛側トノ關係ハ依然一種ノ緊張シタル空氣ノ中ニアリマシタ處、四月在京英國大使館「ピゴット」陸軍武官ガ天津、北京ニ參リマシテ、現地我ガ各方面ト意見ヲ交換シマシタ結果、英國側ニ於キマシテモ我ガ眞意ノアル所ヲ瞭解スル

外務省

日本標準規格B5  
S 1.1.1.0 - 64

370 310

天博社

ニ至リマシタモノノ如ク、英國租界當局ノ態度ニ相當改善ノ兆ヲ見之ニ伴ヒ佛國租界ニ於テモ事態ノ緩和ヲ認ムルニ至リマシタ。

即チ兩租界當局ニ於テハ排日的教科書ノ使用ヲ禁止スル以外、英國租界ハ日本側トノ連絡ヲ圓滑ナラシムル爲日本人顧問ヲ工部局ニ採用シ、更ニ四月上旬新海關監督(程錫儀)ノ暗殺事件發生シマシタル際ニハ、我ガ憲兵隊ノ共同搜查ヲ認ムル等從來ト趣ヲ異ニシタル態度ニ出テ來ツタノデゴザイマス。  
併作ラ天津英佛租界ニ付テハ、電話局接收問題、支那銀行保障ノ現銀引渡問題等ガ依然懸案ノ儘トナツテ居リマスノデ、今後モ兩租界當局ヲシテ新事態ニ適合セシムル爲ニハ、種々ノ努力ヲ繼續スル必要ガアルト存スルノデゴザイマス。

外務省

日本標準規格B5  
S 1.1.1.0 - 64

371 311

REEL No. A-0256

天津英佛租界

○天津英佛租界問題

(昭一四・五・二二)

天津ニ於キマシテハ英佛兩租界ヲ竊カニ根據トスル抗日分子ノ活動ヲ阻止スル爲、客年末以來我軍備ニ於キマシテ兩租界ニ出入スル支那人ニ對シ嚴重ナル檢問ヲ實施致シマシタ。此ノ措置ハ英佛兩國側ニ對シ、或ハ日本側カ租界包圍ノ政策ニ乘出シタノテハナイカトノ懸念ヲ與ヘタ如クデゴザイマシタ。其ノ後本年二月ニ至リ檢問ノ劑度ハ撤廢ヲ見ルニ至リマシタカ、英佛側トノ關係ハ依然一強ノ緊張シタル空氣ノ中ニアリマシタ感、四月在京英國大使館「ピゴット」陸軍武官ガ天津、北京ニ發リマシテ、現地我ガ各方面ト意見ヲ交換シマシタ結果、英國側ニ於キマシテモ我ガ眞意ノアル所ヲ諒解スル



極秘

外務省

(日本標準規格B5) A 1.1.1.0 - 54 372 312

ニ至リマシタモノノ如ク、英國租界當局ノ態度ニ相當改善ノ兆ヲ見之ニ伴ヒ佛國租界ニ於テモ事態ノ緩和ヲ認ムルニ至リマシタ。

即チ兩租界當局ニ於テハ排日的教科書ノ使用ヲ禁止スル以外、英國租界ハ日本側トノ連絡ヲ圓滑ナラシムル爲日本人顧問ヲ工部局ニ採用シ、更ニ四月上旬新海關監督(程錫侯)ノ暗殺事件發生シマシタル際ニハ、我ガ憲兵隊ノ共同搜查ヲ認ムル等從來ト趣ヲ異ニシタル態度ニ出テ來ツタノデゴザイマス。

併乍ラ天津英佛租界ニ付テハ、電話局接收問題、支那銀行保管ノ現銀引渡問題等ガ依然懸案ノ儘トナツテ居リマスノデ、今後モ兩租界當局ヲシテ新事態ニ適合セシムル爲ニハ、種々ノ努力ヲ繼續スル必要ガアルト存スルノデゴザイマス。

外務省

(日本標準規格B5) A 1.1.1.0 - 54 373 313

REEL No. A-0256

秘

鳥居  
花田  
少佐  
回電  
手

昭和14 一五八三六 (暗) 天津 五月廿五日後發 亞、歐、情  
本省 廿五日夜着

有田外務大臣

第三一九號

往電第三〇四號ニ關シ

十九日英國軍參謀「デラメン」少佐急遽北京出張ノ本間司令官ヲ往  
訪東京「ビゴット」少將ヨリ「アージエント、メツセーヂ」ヲ傳  
達セル趣ノ處右「メツセーヂ」ハ本間中將ノ私信ニ答へ「ビ」カ東  
京ニ於テ本件圓滿解決方努力中ナルヲ傳へタルモノナル由ナルカ其  
ノ際「デラメン」少佐ハ「カー」大使ヨリ「ジュミソン」總領事ニ  
對シ本件犯人不引渡ノ訓令アリタルニ付「ジュ」ハ改メテ本國政府

ニ之カ引渡方諒訓シ又在東京英當局ニ於テモ側面ヨリ本國政府ニ對  
シ之カ引渡方極力盡力中ナル旨内話シタル趣ナリシニ依リ二十二日  
本官英總領事ヲ往訪右ニ關シ質問セルニ「カー」大使カ倫敦ニ具申  
セル意見ハ轉電越セルモ何等回訓ニ接シ居ラス而シテ右意見ノ内容  
ハ今申上ケ兼ヌル旨答へタルト共ニ本件ハ何レ圓滿解決ヲ見ルモノ  
ト自分ハ樂觀シ居ル旨述へ居タリ就テハ英側ノ回訓延引ノ爲當地ノ  
空氣惡化シツツアル折柄東京ニ於テモ「クレギー」大使及「ビゴ  
ット」少將ヲ通シ本件圓滿解決方本國政府ニ勸說セシムル様御取計  
相成度ク當方トシテハ假令本件カ希望通り解決スルトモ將來此ノ種  
ノ問題ヲ繰返ササル様此ノ際何等根本的解決ヲ講スルノ要アリト認  
メ居ル處此ノ點改メテ電報スヘキモ右不取敢  
北京、上海(轉電セリ)

天津英領事

田代領事

S 1.1.1.0 - 54

375

S 1.1.1.0 - 54

374

314

REEL No. A-0256

アジア歴史資料センター



北支(3)

五世英租界

秘

スミ

昭和14 一五八三六 (暗) 天津 五月廿五日後發 亞、歐、情

本省 廿五日夜着

有田外務大臣 田代總領事

第三一九號

往電第三〇四號ニ關シ

十九日英國軍參謀「デラメン」少佐急遽北京出張ノ本間司令官ヲ往  
訪東京「ビゴント」少將ヨリ「アージエント、メツセーデ」ヲ傳  
達セル趣ノ處右「メツセーデ」ハ本間中將ノ私信ニ答へ「ビ」カ東  
京ニ於テ本件圓滿解決方努力中ナルヲ傳へタルモノナル由ナルカ其  
ノ際「デラメン」少佐ハ「カー」大使ヨリ「ジュミソン」總領事ニ  
對シ本件犯人不引渡ノ訓令アリタルニ付「ジュ」ハ改メテ本國政府

ニ之カ引渡方請訓シ又在東京英當局ニ於テモ側面ヨリ本國政府ニ望  
シ之カ引渡方極力盡力中ナル旨内話シタル趣ナリシニ依リ二十二日  
本官英總領事ヲ往訪右ニ關シ質問セルニ「カー」大使カ倫敦ニ具申  
セル意見ハ轉電越セルモ何等回訓ニ接シ居ラス而シテ右意見ノ内容  
ハ今申上ケ兼ヌル旨答へタルト共ニ本件ハ何レ圓滿解決ヲ見ルモノ  
ト自分ハ樂觀シ居ル旨述へ居タリ就テハ英側ノ回訓延引ノ爲當地ノ  
空氣悪化シツツアル折柄東京ニ於テモ「ダレーギー」大使及「ビゴ  
ント」少將ヲ通シ本件圓滿解決方本國政府ニ勸説セシムル様御取計  
相成度ク當方トシテハ假令本件カ希望通り解決スルトモ將來此ノ種  
ノ問題ヲ繰返ササル様此ノ際何等根本的解決ヲ講スルノ要アリト認  
メ居ル處此ノ點改メテ電報スヘキモ右不取敢  
北京 上海(轉電セリ)

S 1.1.1.0 - 54

377

S 1.1.1.0 - 54

376 315

記帳済

REEL No. A-0256



*Spase*

昭和14 一五八三六 (暗) 天津 五月廿五日後發 亞、歐、備  
本省 廿五日夜着

有田外務大臣 田代總領事 *[Signature]*

第三一九號

往電第三〇四號ニ關シ

十九日英國軍參謀「デラメン」少佐急遽北京出張ノ本間司令官ヲ往  
訪東京「ビゴント」少將ヨリ「アージエント、メツセーデ」ヲ傳  
達セル趣ノ處右「メツセーデ」ハ本間中將ノ私信ニ答へ「ビ」カ東  
京ニ於テ本件圓滿解決方努力中ナルヲ傳へタルモノナル由ナルカ其  
ノ際「デラメン」少佐ハ「カイ」大使ヨリ「ジュミソン」總領事ニ  
對シ本件犯人不引渡ノ訓令アリタルニ付「ジュ」ハ改メテ本國政府

ニ之カ引渡方請訓シ又在東京英當局ニ於テモ側面ヨリ本國政府ニ  
シ之カ引渡方極力盡力中ナル旨内話シタル趣ナリシニ依リ二十二日  
本官英總領事ヲ往訪右ニ關シ質問セルニ「カイ」大使カ倫敦ニ具申  
セル意見ハ轉電越セルモ何等回訓ニ接シ居ラス而シテ右意見ノ内容  
ハ今申上ケ兼ヌル旨答へタルト共ニ本件ハ何レ圓滿解決ヲ見ルモノ  
ト自分ハ樂觀シ居ル旨述へ居タリ就テハ英側ノ回訓延引ノ爲當地ノ  
空氣悪化シツツアル折柄東京ニ於テモ「クレイギー」大使及「ビゴ  
ント」少將ヲ通シ本件圓滿解決方本國政府ニ勸說セシムル様御取計  
相成度ク當方トシテハ假令本件カ希望通り解決スルトモ將來此ノ種  
ノ問題ヲ繰返ササル様此ノ際何等根本的解決ヲ講スルノ要アリト認  
メ居ル處此ノ點改メテ電報スヘキモ右不取敢  
北京、上海へ轉電セリ

天保私貯

S 1.1.1.0 - 54 379

S 1.1.1.0 - 54 378 316

記帳済



機密第七七三號

昭和十四年五月二十五日

在天津

總領事 田代重德

外務大臣 有田八郎 殿

英佛租界内物資搬入禁止ニ關スル件

本件ニ關シテハ本月中旬電報置ノ次第アル處八日天津日本人綿糸布同業會ニ於テ決定セル事項ハ

- 一、本會員ハ英佛租界内ニ於テ纖維製品ノ取引ヲ禁ス
- 二、本會員ハ英佛租界外ニ店舗ヲ有スル者ニ限り取引ヲナス
- 三、本會員ハ英佛租界内ニ纖維製品ノ搬入ヲ禁ス

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 54

380 317.1.1 a

天  
地  
社  
新

外務省

四、本會員ノ代金決済ハ英佛租界外ノ銀行ニ於テ之ヲ行フ  
註、第四項ノ代金決済問題ハ即時實行困難ナル實情ニ在リ逐次邦人銀行側トモ聯絡ヲ執リ實行ニ移スコト

以上四項ニシテ翌九日ヨリ棉花、落棉及皮革ト共ニ實施ニ移シ其後特務機關ニ於テ更ニ麻及羊毛ヲ右制限品目中ニ加フルコトトセル由ナリ 而テ右制限事項ハ形式上英佛兩租界ニ於ケル物價昂騰抑制ヲ目的ニ日本側業者カ自發的ニ決定セル對策ナリト宣傳シ居ルモ實ハ特務機關ノ命令的相談ニ依レルモノナルコトハ前顯電報ノ通りニシテ二十日ヨリ當地駐屯本間部隊ノ協力ヲ得テ別紙寫ノ如キ要領ノ下ニ兩租境界線ニ於ケル檢索ヲ開始シ前記諸商品ノ兩租界内搬入ヲ

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 54

381 318

外務省

REEL No. A-0256

所有者ノ日本人、支那人及第三國人タルヲ問ハス一律ニ阻止シ居ル  
處實際檢索ニ當ル下級兵士ヘノ命令徹底セサル結果往々制限外商品  
ヲモ搬入ヲ阻止セラレ對支那人、第三國人間ニ相當ノ「トラヴル」  
ヲ生セシメ居ル模様ナリ

右報告申進ス

本信寫送付先 北大 上海 青島 濟南

外務省

(日本標準規格B5)

1,1,1.0 - 54

382 319

英佛租界内棉花（落棉ヲ含ム）、綿糸布、獸皮類  
等搬入防止要領

一、英佛租界周圍ノ檢問檢索

左記ニヨリ本間部隊ニ實施依頼

左記

1 棉花

北支棉花協會ノ許可證ヲ有スルモノハ租界ニ搬入シ得

2 綿糸、綿布

在華日本紡績同業會天津支部又ハ天津綿糸布同業會ノ許可證ヲ  
有スルモノハ租界ニ搬入シ得

3 皮革、羊毛、麻類

外務省

(日本標準規格B5)

1,1,1.0 - 54

383 320

REEL No. A-0256

外務省

ノトス

ロ、荷卸及配給地點

ア、金剛橋ニ於テ荷卸及配給スルモノトス

此ノ際北支棉花協會指定ノ地點ニ檢驗局ヨリ検査員ヲ派遣スルモノトス

ビ、舊市公署跡ノ一部ニ北支棉花協會ニテ倉庫ヲ建築ス

2、鐵道輸送品

國際運輸公司ニテ天津驛東口國際所有ノ置場ニ貯藏ス

日本標準規格B5

S 1.1.1.0 - 54

385 322

外務省

清水部隊ノ許可證ヲ有スルモノハ租界ニ搬入シ得

ニ棉花ノ賣惜ミ囤棉ノ防止

賣惜ミ囤ヒ棉等ヲ行ハシメス總テ協會ニ賣渡ス如ク現地軍憲ノ指導ヲ受ク

三、運輸

1、水路輸送品

イ、證明書發給地點

中國内河航運公會ノ別紙辦事處ニ於テ北支棉花協會納入品ナルノ證明書ヲ發給ス

本證明書ハ北支棉花協會ニテ作製シ豫メ公會ニ交付シ置クモ

日本標準規格B5

S 1.1.1.0 - 54

384 321

別紙

中國內河航運公會辦事處

一、南運河

桑園辦事處

泊頭辦事處

滄縣辦事處

三子牙河

王家口辦事處

三、大清河

保定辦事處

外務省

日本標準規格B5)

S 1,1,1,0 - 54

386 323

安新辦事處  
新鎮辦事處

外務省

日本標準規格B5)

S 1,1,1,0 - 54

387 324

REEL No. A-0256

アジア歴史資料センター

電 信 案	罪 事 実 ニ 付 満 足 ス ル ニ ア ラ サ レ ハ 引 渡 実 現 ハ 困	レ ハ 本 件 ニ 関 ス ル 限 リ 現 地 英 國 警 察 カ 犯	電 報 セ ル モ 何 分 ニ モ カ レ ノ 管 轄 ニ 属 ス ル 事 項 ナ	ハ 引 渡 ニ 承 認 方 夫 々 本 國 外 務 省 及 陸 軍 省 ニ	シ テ 請 訓 ヲ 付 ケ タ ル 由 ニ テ 執 行 ク 及 「 ロ ゴ ン ト 」	人 道 上 能 ク ス ル 所 ニ ア ラ ス ト ノ 理 由 ニ テ 「 ジ ェ ー ミ ン 」	本 件 容 疑 者 ヲ 自 本 例 外 支 那 側 ニ 引 渡 ス コ ト ハ	即 チ 日 本 例
-------------	---	--	---	---	--	---	--	-----------------------

(日本標準規格B5) 8 1.1.1.0 - 54 389 326

(分類) (V)

電 信 案	「 ハ 英 國 警 察 当 局 カ 証 拠 不 十 分 ト 認 メ 居 ル	貴 電 第 三 一 九 号 ニ 関 シ	二十 六 日 「 ク レ ー ギ ー 」 ノ 島 ニ 謝 ハ 所 ニ 依 シ ハ カ	昭和十五年五月二十七日 電送第 13155 號 昭和十四年五月二十七日午後九時分發	主管 東亞局長 任 東亞局長 東亞局長	在 天 津 田 代 總 領 事	天津英國租界犯人引渡 交渉ニ関スル件	第一六四號	記録件名	有 田 大 臣	昭和十五年五月二十七日 加藤 發電係 55
-------------	---	--	--	---	---------------------------------	--------------------------------------	-----------------------	-------	------	------------------	-----------------------------

(日本標準規格B5) 8 1.1.1.0 - 54 388 325

天津東亞局

REEL No. A-0256

電信案

外務省

権限アル当局(支那人ニ付テ支那側)ニ引渡サルカ又  
 英國租界ヨリ放逐セラルヘシトノ趣旨ノ布告ヲ  
 出スコトト成リ居ルニ付將來類似事件発生ノ際  
 ニハ向題ナカルヘシトノコトナリ  
 貴官限リノ御答トセラシム  
 北大及上海ノ特電セリ

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 54

391 328

電信案

外務省

難ナルニシテ「グハ」ジェー「ミシン」ノ報告ニ依リテ「ス」  
 本件容疑者ヲ犯人ト認~~ス~~ <sup>(断定スルニハ)</sup> 証拠~~ハ~~ 不十分  
 ト認め居ル旨申ヘタリ(但シ若シ日本側カ引渡後  
 ノ容疑者ノ生命ヲ保障セラルルニ於テハ解決容易  
 ト成ルミアラスヤト思考ス 尤モ「カ」ニ「ハ」日  
 海ニ歸任セハ「ジェ」ヨリ「今」後租界内ニ於テアラ  
 ムル反日行爲ヲ實施シ又ハ計畫シタル者ハ~~捕~~

(日本標準規格B5)

S 1.1.1.0 - 54

390 327





ル事項ナレハ本件ニ關スル限り現地英國警察カ犯罪事實ニ付満足ス  
ルニアラサレハ引渡實現ハ困難ナルヘシ(「ク」ハ「ジューミン」  
ノ報告ニ依レハ「デニス」ハ本件容疑者ヲ犯人ト斷定スルニハ證據  
不十分ト認メ居ル旨述ヘタリ)但シ若シ日本側カ引渡後ノ容疑者ノ  
生命ヲ保障セラルルニ於テハ解決容易ト成ルニアラスヤト思考ス尤  
モ「カー」カ二十八日上海ニ歸任セハ「ジュー」ヨリ「今後租界内ニ  
於テアラユル反日行爲ヲ實施シ又ハ計畫シタル者ハ權限アル當局一  
支那人ニ付テハ支那側」ニ引渡サルカ又ハ英國租界ヨリ放逐セラル  
ヘシ」トノ趣旨ノ布告ヲ出スコトト成リ居ルニ付將來類似事件發生  
ノ際ニハ問題ナカルヘシトノコトナリ(右出所ハ貴官限りノ御含ト

日本標準規格B5)

S 1,1,1,0 - 54

394 331

外務省

セラレタシ  
北大及上海へ轉電セリ

日本標準規格B5)

S 1,1,1,0 - 54

395 332

外務省

REEL No. A-0256

0246

アジア歴史資料センター

東亞局

第一課

昭和十四年六月七日

機密第七八八號

昭和十四年五月廿九日

在天津

總領事 田代重徳



外務大臣 有田 八郎 殿

租界内自及問題ニ関シ當地英人有方者ノ言動ニ関

スル件

本件ニ関シ當館警務署長ヨリ別紙ノ通り報告有之  
又此件此段報告申進ス

本信寫送付先

上海 漢口 厦門

天津英租界



S 1,1,1,0-54 396 333

天啓高秘第391號

昭和十四年五月二十七日

在天津日本總領事館

警務署長 田島周平

在北京日本大使館

警務部長 堀内干成殿

在天津

總領事 田代重徳殿

租界回政問題ニ関シ各地英人有者言動ニ因スル件  
最近各地巷間ニ於テ英租界並高ノ後蔣態度糾弾方法ト  
之ニ日本陣ハ逆ラ實カニ依リ英佛租界ノ回政ヲ實現ス

可シトノ噂流布サレフニアル也  
北京天津ニイラス取傍致「ロ」  
程度英側ノ本件ニ対スル構ハ  
ルニ三年何等御考査逆左ノ通  
一強報告申進ム

過服未日側苦向メ数次ニ直リ提出シ奉ル英國側ハノ要求  
ハ何レモ不考不答ノ云ノニシテ吾人ハ能道之等ヲ拒絶スル  
ノ要アル也其結果日本側ニ於テ強行サル可キ租界回政  
問題ニ関シテ充分ノ覺悟ヲカル可キナラス  
然レテ本問題ハ益々陰鬱化シテハアル現狀ナルニ就キ日  
本側シテ其虛ニ乘セシメサル手段トシテ左記具體案  
ヲ敢言實施セシムルニ定ナリ  
一義勇隊ノ増強

当地存在自兵隊人ニシテ日本側ニ好感ヲ有セサル者ナシ  
才以上ノ才力迄ノ身体強健ナル者ヲ選ヒ約三週間軍  
事訓練ヲ與フルトモニ極東問題ニ天津租界問題  
ニ関スル一般の智識ヲ注入シ在教習終了後ニ中隊  
ニ編成義勇隊ヲ増強ス

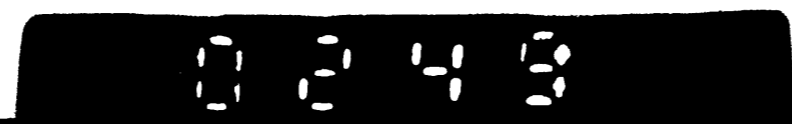
ニ英冠屯軍ノ増強

現在ノ冠屯軍ノ才力ニテハ租界ヲ他ヨリ攻撃サレタル場合  
防禦云々ニ是ラサル状態ナルヲ以テ完全ナル防禦ヲ為ス  
ニ是ル程度迄増強方英本國ニ要ス

以上

S 1.1.1.0 - 54

399 335



大 次  
臣 官

極 秘

東亞局長

印

昭和十四年五月三十日

(亞)

五月七日天津軍當局ノ英佛租界ニ關スル聲明ニ  
關スル件

本件聲明ニ關シ在京英國大使ヨリ何等申入アリタルトキハ左記要領  
ニ依リ應酬スルモノトス

左 記

一、本件聲明ナルモノニ付テハ當方ニ於テハ何等公報ニ接シ居ラス仍  
テ右ニ關シ何等意見ヲ陳ヘ又ハ論議ヲ交ユルコトハ不適當ナリト  
思料ス

二、然レトモ此ノ際特ニ貴大使ノ注意ヲ喚起シ度キハ抗日分子カ天津  
英佛兩租界ヲ其ノ陰謀ノ策源地トシ又各種「テロ」行爲ノ避難所

外 務 省

日本標準規格B5)

8 1.1.1.0 - 54

336

400

トシテ利用シツツアル事實ニシテ帝國政府トシテハ右ノ如キ事實  
ニ對シ重大ナル關心ヲ有スル次第ニシテ英國側ニ於テ禍根一掃ノ  
爲十分ノ協力アランコトヲ要請スルモノナリ從テ例ヘハ現ニ懸案  
トナリ居レル程錫庚暗殺被疑者ノ引渡ノ如キハ速ニ實行セラレ度  
又今後凡テ此種犯人ニ對シテハ租界ノ保護ヲ與ヘス之ヲ天津市公  
署又ハ帝國軍憲ニ引渡ス様取計ハレンコトヲ強ク要望スルモノナ  
リ

外 務 省

日本標準規格B5)

8 1.1.1.0 - 54

337

401

REEL No. A-0256

アジア歴史資料センター









極秘

トシテ利用シツツアル事實ニシテ帝國政府トシテハ右ノ如キ事實  
ニ對シ重大ナル關心ヲ有スル次第ニシテ英國側ニ於テ禍根一掃ノ  
爲十分ノ協力アランコトヲ要請スルモノナリ從テ例ヘハ現ニ懸案  
トナリ居レル程錫庚暗殺被疑者ノ引渡ノ如キハ速ニ實行セラレ度  
又今後凡テ此種犯人ニ對シテハ租界ノ保護ヲ與ヘス之ヲ天津市公  
署又ハ帝國軍憲ニ引渡ス様取計ハレンコトヲ強ク要望スルモノナ  
リ

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.1.10 - 54

404 340

昭和十四年五月三十日(亞)

五月七日天津軍當局ノ英佛租界ニ關スル聲明ニ  
關スル件

本件聲明ニ關シ在京英國大使ヨリ何等申入アリタルトキハ左記要領  
ニ依リ應酬スルモノトス

左記

一、本件聲明ナルモノニ付テハ當方ニ於テハ何等公報ニ接シ居ラス仍  
テ右ニ關シ何等意見ヲ陳ヘ又ハ論議ヲ交ユルコトハ不適當ナリト  
思料ス  
二、然レトモ此ノ際特ニ貴大使ノ注意ヲ喚起シ度キハ抗日分子カ天津  
英佛兩租界ヲ其ノ陰謀ノ策源地トシ又各種「テロ」行爲ノ避難所

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.1.10 - 54

405 341

REEL No. A-0256

五月

八日 英總領事 犯人引渡ニ付 カレ大使及倫  
教ニ請訓

外務省

8 1.1.1.0 - 54 407 343.12

トシテ利用シツツアル事實ニシテ帝國政府トシテハ右ノ如キ事實  
ニ對シ重大ナル關心ヲ有スル次第ニシテ英國側ニ於テ禍根一掃ノ  
爲十分ノ協力アラシムコトヲ要請スルモノナリ從テ例ヘハ現ニ懸案  
トナリ居レル程錫庚暗殺被疑者<sup>犯人</sup>ノ引渡ノ如キハ速ニ實行セラレ度  
又今後凡テ此種犯人ニ對シテハ租界ノ保護ヲ與ヘス之ヲ天津市公  
署又ハ帝國軍憲ニ引渡ス様取計ハレンコトヲ強ク要望スルモノナ  
リ

外務省

(日本標準規格B5) 8 1.1.1.0 - 54 406 342

REEL No. A-0256

アジア歴史資料センター

東亞局

五

機密第 八二六 號

第一課

天保英壯子

昭和四年六月廿四日接

14.6.24

記帳

昭和四年六月一日

在天津

總領事 田代重徳



外務大臣有田八郎 殿

當此英國側檢拳術禁中、抗日分子釋放説ニ関スル件  
公作ニ関シ何等御参考迄別紙、通リ報告申進ス

本信寫送附先

上海漢口廈門廣東

S 1,1,1.0 - 54

408

344

天警高秘第403號

昭和十四年六月二日

在天津總領事館

警察署長田島周平

在北京大使館

警務部長堀内干城殿

在天津

總領事田代連徳殿

當地英國側檢擧拘禁中ノ和日分子釋放説ニ関スル件

本作ノ旨ニ當署謀者ノ英二部局華人職員筋ヨリ謀知提報セシ建ニ據レ  
ハ當地英國駐屯軍司令部ニ於テハ客年九月ヨリ本年四月ニ至ル間抗

日分子男女五十一名ヲ檢擧拘禁中ノ經過日英國大使館ヨリ其釋放  
方指令アリ依命一六日ヨリ三日目毎一回ノ擧ニテ向フ一ヶ月以內ニ是  
等抗日分子全部ヲ釋放スルト共ニ右五十一名中重要抗日分子六名政治  
關係者四名軍關係者及軍人七名共産黨分子若干名ニ関シテハ日本  
側ハ速達ヨリ特ニ米籍汽船ニテ一應香港へ送致シ同地ニ於テ釋放方  
可然取計ハシムコトニナレル趣ナリ

右真偽不明ナルモ英側ノ對日態度ニ鑑ミ或ハ事實ヲラサレトモ思料セ  
ラレニ付何等御參考報告申進ス

本信寫送附先

北京署山海關唐山塘沽滄州印坊

S 1.1.1.0 - 54

410

S 1.1.1.0 - 54

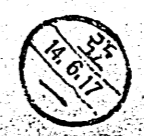
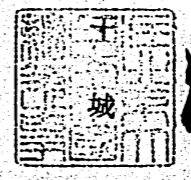
409 345

東京局  
機密第4,355號

第一課

昭和十四年五月三日

在北京  
總領事 堀内



昭和四年六月拾七日接受

別紙添附

記帳済

天津租界

外務大臣 有田 八郎 殿

天津英佛租界問題下新民會中央指  
導部ノ動向ニ關スル件

本件ニ關シ常館警察署長ヨリ別紙ノ通り報告有之タルニ付御参考迄  
報告申進ス

本信寫送付先

在滿大使 (二) 天津 張家口 青島 上海  
南京 濟南 厦門 漢口 廣東

北警高秘第三一六三號

昭和十四年五月三十一日

在北京總領事館警察署長  
外務省警視 井手清 見

在北京  
總領事 堀内 干城 殿

天津英佛租界問題下新民會中央指導部  
ノ動向ニ關スル件

英佛等ノ租界ハ東亞新秩序建設ノ一大障害トナリ之カ解決ニ關シテハ  
極メテ眞摯ニ論議セラレツ、アル處ナルカ業者ノ提議及各方面ヨリノ  
聞込ミニ依レハ支那各地ニ於ケル英佛租界ノ惡勢力ト四月攻勢及五月  
攻勢等敵ノ活動活發ヲ示シツ、アル折柄天津ニ於ケル英佛租界問題モ

S 1,1,1,0 - 54

412 347

S 1,1,1,0 - 54

411 346

REEL No. A-0256

アジア歴史資料センター



益々其度ヲ加へ當地新民會中央指導部ニ於テハ本月中旬京津二都市指導部ニ指令ヲ發シ二都市ノ市民及各種團體ニ授策シテ民衆運動ヲ興サシメ以テ英佛租界ノ中國新政權ニ對スル進展阻碍ニ反對セシメントシツ、アリ其ノ狀況左記御參考迄報告ス

記

天津英佛兩租界ハ黨府ヲ協助シ抗日分子ノ温床兼策地陰匿地ニシテ又金融其他華北新政權ノ破壞行動策策殆ント公然トシテ行ハレ其事實ハ獲フヘクモナシ依ツテ臨時政府當局ハ英佛使節ニ對シ屢々租界内不法組織並不穩分子ノ取締リヲ促シタルモ何等所期ノ回答ナキノミナラス此數ヶ月來益々新政權ニ對スル金融擾亂其他新政權更生ノ途ヲ擾亂サル、コト甚シク華北民衆ハ最早之ヲ忍ビ得サル處ナレハ群起シテ英佛租界ノ存在ニ反對シ以テ英佛租界警備權ノ回收要望ヲ決定セント

而シテ天津新民會指導部長紐傳善及北京新民會指導部長余普餘ノ兩

413 348

S 1.1.1.0 - 54

名ハ其後北京中央指導部ニ曾シ緊急會議ヲ開キ京津二市ノ民衆ノ要求ヲ採擇シ英佛兩租界ノ警備權回收ニ關スル辦法ヲ決定セリト即チ天津北京兩指導部ハ其策動基本團體トナリ民衆ヲ領導シ英佛兩租界ニ對スル一般ノ輿論ヲ喚起スルコト、ナリ

北京新民會指導部各民衆職業分會各工商農業分會等數十團體代表ハ去ル五月十五日北京新民堂ニ於テ天津英佛租界問題ニ關シ之カ工業辦法ヲ討論シ民衆運動ノ領導ヲナスコト、ナレリト

其ノ後ノ狀況尙内偵中ナリ

本信寫送付先

天津

414 349

414

S 1.1.1.0 - 54